

## 課題

言語活動の充実 《クラスの生徒間に英語の学力差がある中、いかに効果的な言語活動を実践できるか》

## 具体的な取組と工夫

- 授業内での言語活動(ペアワークを基本とすることにより全員が参加)
  - ・ 語彙インプット 発音確認、英英辞典の定義とのマッチングなど、ワークシートを活用しさまざまなパターンで行う。
  - ・ TF Questions 答え合わせはペアで簡単な英語を使って行う。
  - ・ Open Question 自分の考えを英語で書かせる。
  - ・ 音読 リピート、ペアで音読、サイトトランスレーション、空所補充などから組み合わせて2、3回行う。
- 学年統一の言語活動とパフォーマンステスト(教科書本文の内容に絡めて、隔週でFLTと実施)
  - 2学年 6月 スピーチテスト(140語) “The Famous Person Whom I Respect“
  - 9月 ライティングテスト(60語+40語) (ディベート準備を兼ねて、論題に対して賛成・反対両方の立場で書く)  
ミニディベート(論題“Restaurants in Japan should introduce the use of doggie bags.”)
  - 12月 インタビューテスト(英検準2級～2級レベルのインタビューテストを実施)

## 成果

- (授業内)
- ・ 毎時、英語を話したり音読したりする機会を確保した。
  - ・ 英語での指示が十分通るようになった。
  - ・ 89%の生徒が能力向上を実感した。(101名対象にアンケート実施)
- (学年統一の言語活動とパフォーマンステスト)
- ・ 公平な評価ができ、教員間チームワークや継続性(試行錯誤しながら次へ繋ぐ)が向上した。
  - ・ 生徒はParagraph Writingに慣れ、発表ではアイコンタクトができるようになった。
  - ・ 82%の生徒が能力向上を実感した。(101名対象にアンケート実施)
  - ・ 英検受験者数が増加した。(50名/101名中)
- 準1級(2次準備中2名),2級取得6名(2次準備中10名),準2級取得26名(2次準備中6名)

## 課題及び改善案

- (授業内)・ペアに頼り切っている生徒がいる。
  - 席替えをするなど、ペアを頻繁に変える。
- 初読での理解力が低い。
  - 速読教材などを用いて多読させる。
- (学年統一の言語活動とパフォーマンステスト)
  - ・ 教科書とのずれが生じる→年間計画で調整する。
  - ・ 抑揚をつけない生徒がいる。
    - 授業の中で音読テストなどを取り入れる。
  - ・ 受動的な生徒がいる。
    - 生徒がワクワクする活動を取り入れる。